

Winona State University

- ・ P/NC 評価科目として選択できる科目は学科が指定するが、いわゆる専門科目は通例指定されない。
- ・ TA とインターンシップを除いて、学生は一学期に 6 単位まで P/NC 評価科目を受講でき、卒業単位としては 32 単位まで P/NC 評価科目を算入できる。
- ・ A-E 評価科目を P/NC 評価科目として受講することは授業の 5 回目までに決めなければならない。

Washington State University

- ・ P/NC 評価科目として受講するにはアドバイザーの承認が必要。
- ・ 一般教育必要単位 (General Education Requirements (40 単位)) で求められる科目は P/NC 評価科目として受講することはできない。
- ・ 全体で 6 科目まで P/NC 評価科目としての受講が認められる。
- ・ 授業 3 週目までは、P/NC 評価科目としての受講を A-E 評価科目に、A-E 評価科目を P/NC 評価科目としての受講に切り替えることができる。
- ・ P (合格) は GPA に算入されないが、NC (不可) は GPA の分母でカウントされる。

University at Albany

- ・ A-E 評価科目を P/NC 評価科目として受講できるのは学士課程を通じて 2 科目まで。
- ・ (授業ナンバリングで) 300 レベル以下のものしか P/NC 評価科目として受講することはできない。
- ・ A-E 評価科目を P/NC 評価科目として受講するかどうかは 15 週までに変更できる。

Portland State University

- ・ A-E 評価科目を P/NC 評価科目とするオプションがついている授業があり、学生が P/NC として授業するには最初の 5 週目までに決めなければならない。しかし再履修ではそのオプションは使えない。
- ・ 45 単位まで P/NC 単位が認められるが、4 年次は P/NC は 20 単位までしか認められない。

Oregon State University

- ・ 学科が P/NC 評価科目として指定する授業は、スキルをつける授業、就労経験、学問より方向付け・意識付けに重きが置かれるものに限られる。

North Carolina State University

・12 セメスター・アワーを上限として A-E 評価科目を P/NC 評価科目として受講することができ、それらは自由選択科目としてカウントされる。

Lake Superior State University

・一学期につき一科目を P/NC 評価科目として履修でき、12 単位まで学位申請に算入できる。

・必修科目と一般教養科目は P/NC 評価科目として履修することはできない。

・A-E 評価科目を P/NC 評価科目として履修するには、学期の6日目までに申請しなければならない。

Grand Valley State University

・10 単位まで A-E 評価科目を P/NC 評価科目として履修できるが、それには専攻学科の承認が必要である。しかし選択科目や一般教育科目の場合は承認は必要ない。

・A-E 評価科目を P/NC 評価科目として履修するかどうかは学期の第一週に決めなければならない。

Colorado State University

・A-E 評価科目を P/NC 評価科目として履修するための申請書に、アドバイザーと授業担当教員の署名がなければならない。申請書は学期最初の2週間以内に提出しなければならない。

・一学期に一科目のみこのオプションを使うことができる。

・新生（一年次生と編入生）の前期はこのオプションを使うことができない。

・GPA が 2.0 以下の学生はこのオプションを使うことができない。

Cleveland State University

・仮及第期間中(on probation)でなくかつ 30 単位以上履修した学生は、限り一学期一科目（全部で4科目まで）A-E 評価科目を P/NC 評価科目として履修できるが、専攻する分野の授業ではそのオプションは取れない。

Austin Peay State University

・A-E 評価科目のうち、P/NC 評価科目として履修できるものがあり、それまで 24 単位以上を履修している学生は仮及第期間中(on probation)でない限り、授業担当教員の承認があれば一学期一科目までそのオプションを使うことができる。